

主任コラム9月号

主任 澤井 良子

暑かった8月も終わり、朝夕は少しずつ涼しさが感じられるようになってきました。

夏祭りが終わってから、職員で幼児棟のコーナーの配置替えをしました。保護者の方には、入室制限にご協力頂いているため、どのように変わったのかを見て頂けていないので、子ども達がどのように過ごしているのかをお伝えできればと思います。

今年度に入り幼児クラスではコロナ感染症予防の観点や、Aグループのお部屋と、Bグループのお部屋で同じコーナーで 遊・食・寝の空間を2つ作り、子ども達の関わりを把握し交わらないようにしていましたが、しかし保健所の対応や国の考えも変わってきている今、A・Bグループの中だけで子ども達の人間関係や、関わりを止めてしまうのはどうなのか？ということから、以下のようにコーナーを設定し、子ども達が好きなコーナーを選択し、好きな友達と関われるようにしました。

◎旧さくらの部屋・・・Aグループのロッカー・受け入れ・ランチルーム・ゲームコーナー



◎旧くぬぎ組の部屋・・・Bグループのロッカー・受け入れ・ランチルーム
製作・STEM (実験コーナー)・表現コーナー



◎旧とちのきのお部屋・・・Bグループロッカー・積み木・ブロック・ラQ・プリズモ



◎ホール・・・3・4歳児午睡 (午後)・多目的ホール・絵本コーナー



年長児お泊り保育

8月26日(金)18時から8月27日(土)8時まで
年長さんのお泊り保育がありました。初めて親御さんから
離れて過ごす子も多く、「楽しみだけど緊張する」と不安そう

な子や「大丈夫!!」と自信満々な子や、それぞれが小さな胸に様々な思いを持ちながらスタートしました。

リクエストメニューの豪華な夕食に、サイダーにラムネを入れてシュワーと泡が噴き出す科学実験を取り入れたフルーツポンチ。懐中電灯を持ってグループでの夜の保育園のミッションをしてからみんなで就寝。就寝は不安と興奮でなかなか寝付けず、全員が寝たのは22時半でした。

そこからは、不安から目を覚ましたり、泣きだしてしまう子。トイレに連れていったり、タオルケットを掛けなおしたりということもありました。朝、元気に起きてラジオ体操をし、園庭で遊び朝食を食べ終え、身辺整理をしてから全員の検温をして体調に変化がないことを確認した担任の表情には安堵があり、リュックを背負い保護者の方のお迎えに向かう子ども達の姿は14時間の間に達成感と自信に満ち溢れているように感じました。対面式では、子ども達が保護者の方に走って抱きつき、保護者の方が笑顔で抱きしめる姿は感動しました。

ほとんど寝ずに子ども達を見ていた担任のゆい先生・倉田先生・金先生。夕食やミッションまでしてくれた坂先生・矢下先生・伊達先生。朝からずっとおいしいご飯を作ってくれた給食の辻本先生・村居先生・佐伯先生。対面式でのご褒美の缶バッジを苦戦しながら作ってくれた安田先生・事務所の京子さん。飾りを作ってくれた2階の先生や、ご褒美の缶バッジを入れる可愛いおにぎりを作ってくれた幼児棟の先生。年長児の担任の先生の準備の時間のフォローに入ってくれた支援センターの先生。ミッションの企画を考えて準備をしてくれた全員の先生。お泊り保育の時間にはいなくても、年長さんの喜ぶ姿・成長した姿がみたいと職員全員が気持ちを込めてお泊り保育に取り組んできました。

子ども達の思い・保護者の方の思い・職員の思い。たくさんの思いをのせてお泊り保育が無事終えられた事に私は安心感と達成感でいっぱいとなりました。特に担任の3人の先生は24時間気を張ってたことと思います。

コロナで行事も変えざるを得ないこともこの2年でできましたが、これからの行事も職員全員でどうしたらできるのか、子ども達の成長を保護者の方に届けられるのかを考えながらやっていきたいと思っています。



年長さん、頑張ったね!! 思い出が増えたね!